

## ガザ停戦のため、ただちに行動を



世界の医療団（特定非営利活動法人メドゥサン・デュ・モンド ジャポン）は、紛争や自然災害、貧困、差別などで医療を受けられない人々に医療を届け、将来にわたって医療を受けられるよう活動する国際 NGO です。

パレスチナでは 1994 年から医療支援活動を行っており、ガザにおける人道危機に関して、世界の医療団は、関係国のリーダーに下記を求めます。

私たちは、国際人道法を守り、市民の生命を守る唯一の手段であるガザ停戦を確かなものにするため、ただちに行動を起こすよう強く求めます。

イスラエルとパレスチナ自治区で活動する人道支援団体と人権団体は、国際社会に対し、緊急かつ永続的な停戦が不可欠である、と一致して切実に要請します。これこそが、人命を守り、不可欠な人道支援を途切れのないよう確保し、国際人道法違反に歯止めをかける唯一の手段なのです。ガザは急速に広大な墓地へと変貌しており、国際社会は紛争当事者に民間人の安全を守るよう強制する法的責任があります。

ガザでは、人間の生存に必要な基本的ものが、今や存在していません。医療システムは崩壊し、過密状態の医療施設や病院では疲弊した医療従事者が床に横たわる患者を診察し、麻酔なしで手術を行っています。避難民を受け入れる一方で、これらの施設は直接攻撃の脅威にさらされています。人々は 1 日 1 食だけの食事と塩水で生きながらえています。180 万人もの市民が避難を余儀なくされており、安全な行き場所もなく、砲撃から逃れ続けています。女性や子どもたちは、車の中や路上、狭い避難所で寝泊まりしています。感染症の脅威が迫っており、これにより空爆よりも多くの命が奪われるかもしれません。このような悲惨な状況において、子どもたち、妊娠・授乳中の女性、障害を持つ人たちが最も大きな負担を強いられています。現在の状況はまったく持続不可能です。

私たちは、イスラエル政府が 10 月 9 日に開始した全面的な封鎖と、それに続く人道支援物資の搬入制限の深刻な影響について警告してきました。しかし、子どもや女性、そして最も弱い立場にある人々の被害は、私たちが当初懸念していたよりもはるかに甚大です。国際社会の目前で繰

り広げられているのは、身体的にも心理的にも深刻な影響を及ぼす、完全に人為的な大惨事です。

国際人道法が示す明確なガイドラインは、戦争にもルールがあると明言しているにもかかわらず、ガザはこうした原則が無視された顕著な例となっています。民間人、特に女性や子どもたちの悲劇的な犠牲は、国際人道法を守ることとガザでの軍事作戦を継続することの間にある紛れもない矛盾を浮き彫りにしています。16年にわたり厳しい封鎖にさらされてきたこの人口密集地の住宅街、難民キャンプ、病院、学校、礼拝所の死傷者や大規模な破壊は、単なる巻き添え被害として片付けることはできません。

220万人の市民が生き延びるためには、永続的な停戦が不可欠です。紛争によって、百万人規模の人々が北部から南部への避難を余儀なくされていますが、そこでも安全が確保できず、過密で不衛生な状況が蔓延しています。現在、ガザには安全な場所はどこにもないということを強調します。指定された「安全地帯」でさえ、依然として攻撃を受けやすく、180万人の避難民を受け入れることはできません。11月下旬の7日間の一時停戦は住民にいくらかの救いになりましたが、人道支援団体が膨大なニーズに適切に対応したり、イスラエルとハマス両当事者による戦争犯罪の可能性を徹底的に調査したりするには不十分でした。

私たちは爆撃の下では援助を提供できません。爆撃が続き、物資・食料配布が妨げられ、たったひとつの制限された検問所を通じてしか最低限の援助を提供できない一方で、イスラエルの全面的な封鎖によって水、食料、燃料、電気といった必要不可欠な物資の搬入が妨害されている限り、効果的な人道的対応は単なる幻想と化します。

私たちは、人道支援と物資の両方の搬入を促進するため、ケレム・シャロームとエレズを含むすべての検問所の開放を緊急に要求します。

毎日、何百人もの命が失われていますが、停戦が実現していれば、その一人一人が命を落とさずに済んだはずです。

---

世界の医療団は、世界 74 ヶ国で 330 の活動と 17 のネットワークを持つ国際 NGO です。1980 年の団体発足以来、これまでも自然災害や紛争地域において、人道危機発生時の緊急支援から、その後の長期的な復興支援まで、現地のニーズに即した活動を続けてきました。

### ■お問い合わせ先■

特定非営利活動法人 メドゥサン・デュ・モンド・ジャポン（認定 NPO 法人）

広報担当 糟谷

<https://www.mdm.or.jp/> TEL: 03-3585-6436 Email: [communications@mdm.or.jp](mailto:communications@mdm.or.jp)